

令和5年度 第3回かながわコミュニティカレッジ運営委員会 会議録

○開催日時 令和6年2月26日(月) 13時00分～16時40分

○開催場所 かながわコミュニティカレッジ講義室1(かながわ県民センター11階)

○出席者

伊藤 真木子(青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授)

加藤 直樹((一社)神奈川県専修学校各種学校協会 常任理事)

加茂 圭子(公募委員)

坂田 美保子((特非)湘南NPOサポートセンター 理事長)

澤岡 詩野((公財)ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 主任研究員)

志田 淳一((社福)神奈川県社会福祉協議会地域福祉部 地域課 課長)

為崎 緑(中小企業診断士)

鶴山 芳子((公財)さわやか福祉財団 常務理事 共生社会推進リーダー)

○議題

1 令和5年度かながわコミュニティカレッジ業務報告及び評価について

2 令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務委託団体選考 第2次審査(総合評価)について【非公開】

○議事内容

議題1「令和5年度かながわコミュニティカレッジ業務報告及び評価について」

(県事務局より資料1-1に基づき説明後、受託事業者より1-2に基づき報告)

為崎委員

ご説明ありがとうございました。各講座の総合点をみても、ほとんどの講座が8割を超える結果となっており、受託事業者の努力が感じられました。いくつかお聞きしたいことがあります。

1つ目は、「災害救援・減災・防災」の分野について他の分野と比較すると総合点がやや低いのではないかと感じまして、何が原因であるのかお伺いしたいと思います。

2つ目は、「子どもの健全育成」の「発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座」は毎年応募者が多い講座だと思いますが、評価欄の満足度をみると、特に基礎編は満足度が低くなっているの、なぜ人気のある講座なのに満足度が低いのか教えていただければと思います。

受託事業者

「災害救援・減災・防災」の分野ですが、「防災リーダーに必要な多様性に配慮した視点を学ぶ」という講座の総合点が少し低くなっております。災害ボランティア関係の講座になると、災害ボランティアに直結するような内容や活動に繋がるような内容になります。例え

ば、過去の事例として近郊ではなく東北や神戸、熊本といった事例を扱わせていただいておりますが、すぐに役立つというよりも備えるという部分が主眼になっているのではないかと思います。その点で少し他の分野よりも総合点が下がっているのではないかと思います。受講生の中には防災士といった資格をお持ちの方もいらっしゃる一方で、本当に初めてという方もいらっしゃり、そのバランスの部分も若干難しかったと思います。

また、ご指摘いただきました「発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座」ですが、こちらは毎年非常に評価が高い講座で、私共もどうしたかなと思った点でございます。ただ、こちらの講座、各回アンケートの評価は非常に高く、そこは例年と変わらず点数をいただいております。最終回アンケートの部分でいうと、「講座実施団体や他の受講生と繋がることのできたか」という質問の評価が非常に低い結果となりました。講座のやり方は今までと変わらないやり方でやっているはずなのですが、受講生の感覚の違いがもしかしたらあるのかもしれない、その部分の評価は目立っていたと思います。これについては、もう一度、講座実施団体とお話させていただきたいと思っております、分析をしつつ進めたいなと思っていた点でございます。

伊藤座長

ありがとうございます。この質疑応答の時間が13時30分までと予定しておりまして、限られた時間の中でとなってしまいますが、全体的なところで委員の皆様コメントいただければと思います。

澤岡委員、お願いします。

澤岡委員

全体的なことが2点と、それから講座のことで1点お伺いしたいことがございます。

先ほどのご説明の中で、今年から受講料の単価が上がりそれに対してアンケートでも辛口だったということですが、深掘り分析した際、過去にコミカレを受講された方とそうではない方で分けた時に、受講された方が今までの値段を知っているだけに値上げしたら嬉しくないということ、一方で、今まで受講されたことがなかった方に関しては「この値段でもいいのでは」というようなことが想定されるのかなと思いました。深掘り分析をした結果として、そういった傾向があるということがありましたら教えていただけたらというのが1点になります。

それから2点目は、障がいのある受講生への配慮についてです。やはり神奈川県が実施する事業ということで、学びたい方は誰も排除しないということで、素晴らしい取り組みをしてくださっているなと思います。ただ、昨年も同じコメントをさせていただいたようにも思うのですが、やはりこうやって勇気を出して「受講したいです。受けることはできますか。」と言ってこられる方というのは、相当強い方なのではないか思います。誰でも学べる可能性があるということをお伝えする意味でも、何かこういったことを積極的に発信する、それか

ら既に受講されている他の受講者に「こういう方が受講されて、我々はこのような配慮をして皆さんに学びの機会を広げている」という、ある意味、他の受講者というのは広報部隊になるのかなというところで、何かそういうことを発信されているようなことがあれば教えていただければと思います。

講座についてですが、連携講座で気になった点があります。「スマホサポーター養成講座」は国もかなり力を入れていて、色々なところでも人気があるというお話を伺うのですが、応募倍率や満足度をみると、他の講座と比べると低いのかなというところで、連携講座なのでご存じの範囲でというところですが、皆さんどんなニーズで受講されて満足度が合わなかったのかといった、もし中身が分かっていたら教えていただければと思います。

受託事業者

ありがとうございます。まず、受講料の件ですが、アンケートを取る際に、3を付けた方が3点で、「安かった」と回答した方が5点というような、そういう評価で取らせていただいております。今年度の平均については3.12点なので、「適当だった」と皆さんお答えいただいている状況でございます。昨年度は少し高くて3.26点という点数でございましたので、若干ではありますが点数が下がっている状況でございます。ただ、講座の回数が4回の講座から10回の講座があります。10回の講座ですと2万円近くの受講料をお支払いいただくということで、2万円の受講料に対して講座の内容はどうだったかというような評価になります。そのため、やはり昨年受講されている方は、少しずつ上がっているところもあるので、高いという印象を持っていらっしゃると思いますが、今年度初めてコミカレを知った方については、特に比較するものではないので、受講料と講座の内容がマッチしていたかどうかというところで評価をさせていただいているのではないかと思います。

それから、聴覚障がい者の受講について手話通訳を付けて講座を実施しているというところを発信しているかどうかですが、現段階ではやっておりません。手話を付けた方についても受講されてどうだったかというお話は伺っていないですが、受講後にお礼のメールをいただきました。また、3月2日に実施する受講生交流会についても、「参加したかったが予定があって参加できない。また機会があれば参加したい。」というご連絡もいただきました。通訳者を付けて講座を運営するという対応をどこまでできるかというのがあるので、そこについては検討をさせていただきたいと思います。

連携講座の「スマホサポーター養成講座」についてですが、アンケートを細かく見ないと分からないのですが、「スマホサポーター養成講座」は1回、2回の無料講座を色々な地域で実施しておりまして、なかなか受講料を取ってスマホサポーターを養成するという講座は、比較すると少しハードルが高いかなという印象を元々持っておりました。ですので、受講料の点や、受講中、受講後の活動のバックアップ、フォローアップというところで、若干低かったのではないかと感じております。ただ、講座の内容については非常に色々な事例を

出していただきながら分かりやすく受講生に説明していただいていたと思いますので、そういう意味では、一番点数に影響したのは参加者が少なかったというところではないかと思えます。

以上